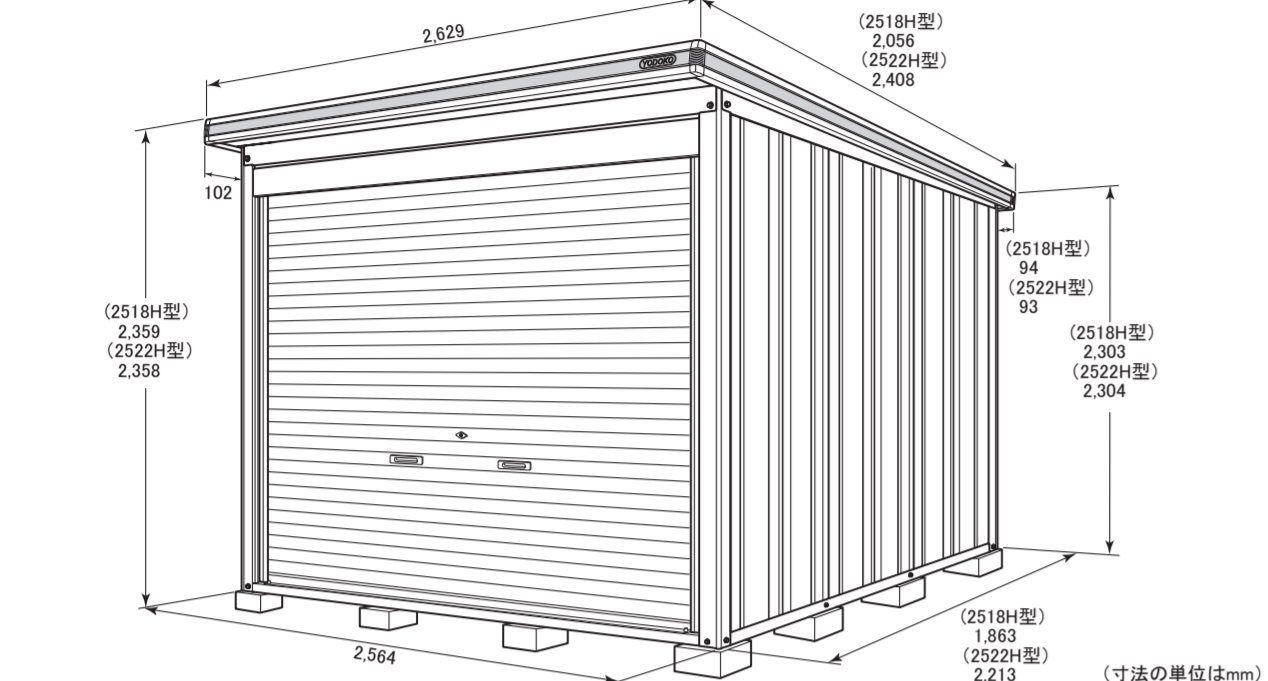


# ヨド物置 エルモ シャッター

## 単棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(S)・2518HF型・2522HF型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。  
 また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡ください。  
 ※この組立説明書は2522の図で説明しています。2518の場合も組立手順は同じです。  
 よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者にご依頼ください。)



●設置場所の制限  
 ※鍵はシャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

- △注意
1. 建物の屋上には設置しないでください。
  2. ハルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
  3. 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
  4. 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
  5. 給湯器の前には設置しないでください。

- 施工前の注意点
- △注意
1. アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
  2. 部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。  
 ※安全のため必ず手袋を着用してください。
  3. 重い部材・梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
  4. 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
  5. 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
  6. 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

機種	2518型	2522型
部	LO5-0108	LO5-0108
上枠前後	LO5-0206	LO5-0206
積雪型	LO5-0226	LO5-0226
下枠前後	LO5-0256	LO5-0256
上枠左右	LM5-0304	LM5-0305
下枠左右	LM5-0354	LM5-0355
柱	LO5-0413	LO5-0413
扉柱	LM5-1456	LM5-1456
扉横し	LM5-1106	LM5-1106
一般型	LM5-0543	LM5-0543
積雪型	LM5-3541	LM5-3542

部品名	数量	部品名	数量
●部品		●部品	
●LO5-0108	2518・2522	●下枠左右	2518
部材名	数量	LM5-0354	2518
ボルトM6×15(白)	226(12)	部材名	数量
ボルトM8×21	5(1)	ELD 下枠前 A2.5 左	1
ナットM6-16用	5(1)	ELD 下枠前 A2.5 右	1
EL 前連結金具	1	●LM5-0355	2522
ELD 扉柱取付金具	1	部材名	数量
ELD 扉柱取付金具 L	3	ELD 下枠前 A3.0 左	1
ELD 扉柱取付金具 B	1	ELD 下枠前 A3.0 右	1
組立説明書	1	●柱	LO5-0413
取扱説明書	1	部材名	数量
保証書5年	1	LOD 柱前 YK 左	1
		LOD 柱前 YK 右	1
		ELD 柱後 H	2
		ELD 扉柱後 H	3
		LOD 柱前補強カバー YK 左	1
		LOD 柱前補強カバー YK 右	1
		●上枠前後	LO5-0206
		部材名	数量
		LOD 上枠前 A3.5	1
		ELD 上枠前 A3.5	1
		LOD 上枠前 A3.5	1
		●LO5-0226	2518・2522
		部材名	数量
		ELD 上枠前 A3.5	1
		LOD 上枠前 A3.5	1
		●下枠前後	LO5-0256
		部材名	数量
		ELD 下枠前 A3.5	1
		LOD 下枠前 YK A3.5	1
		ELD 上枠後 A3.5	1
		ELD 床補強 A3.5	2
		●扉柱	LM5-1456
		部材名	数量
		ELD 扉柱 前 3.0H	1
		ELD 扉柱 後 2.5H	2
		ELD 扉柱 後 2.5H	2
		●扉横し	LM5-1106
		部材名	数量
		ELD 扉横し 前 A3.5	1
		ELD 扉横し 後 A3.5	1
		●上枠左右	LM5-0304
		部材名	数量
		ELD 上枠左 A2.5	1
		ELD 上枠右 A2.5	1
		●LM5-0305	2522
		部材名	数量
		ELD 上枠左 A3.0	1
		ELD 上枠右 A3.0	1

○部材名称にはA2.5、A3.0、A3.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しております。  
 ○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

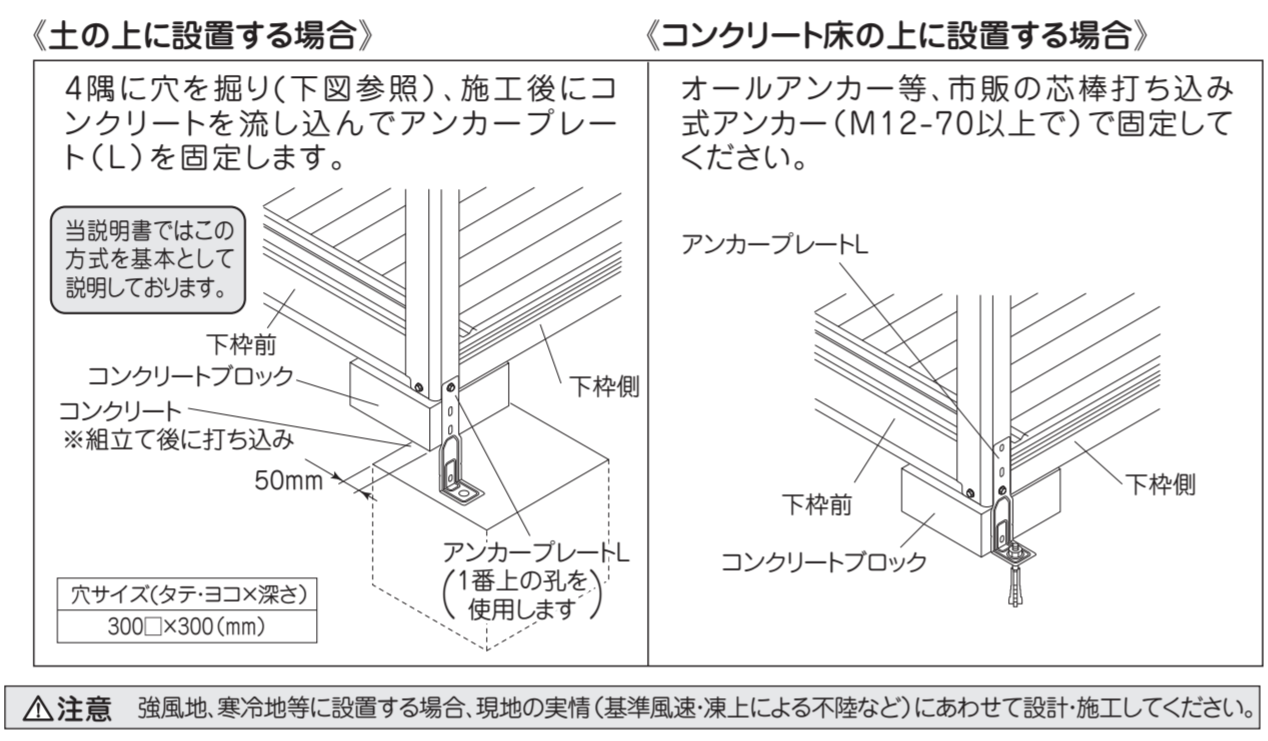
- 施工時の注意点
1. まず御注文通りの商品かどうかを梱包合せ表・梱包内容表にて確認してください。
  2. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
  3. 部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取り付部材を右、左側に取り付部材を左とします。  
 ※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
  4. 部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立してください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
  5. 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
  6. シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくご確認の上、組立を行ってください。

- 基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)
- ・コンクリートブロック 個数は①基礎施工を参照ください。(幅19cm(39cm)×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
  - ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)\*土の上に設置する場合に必要です。
  - ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

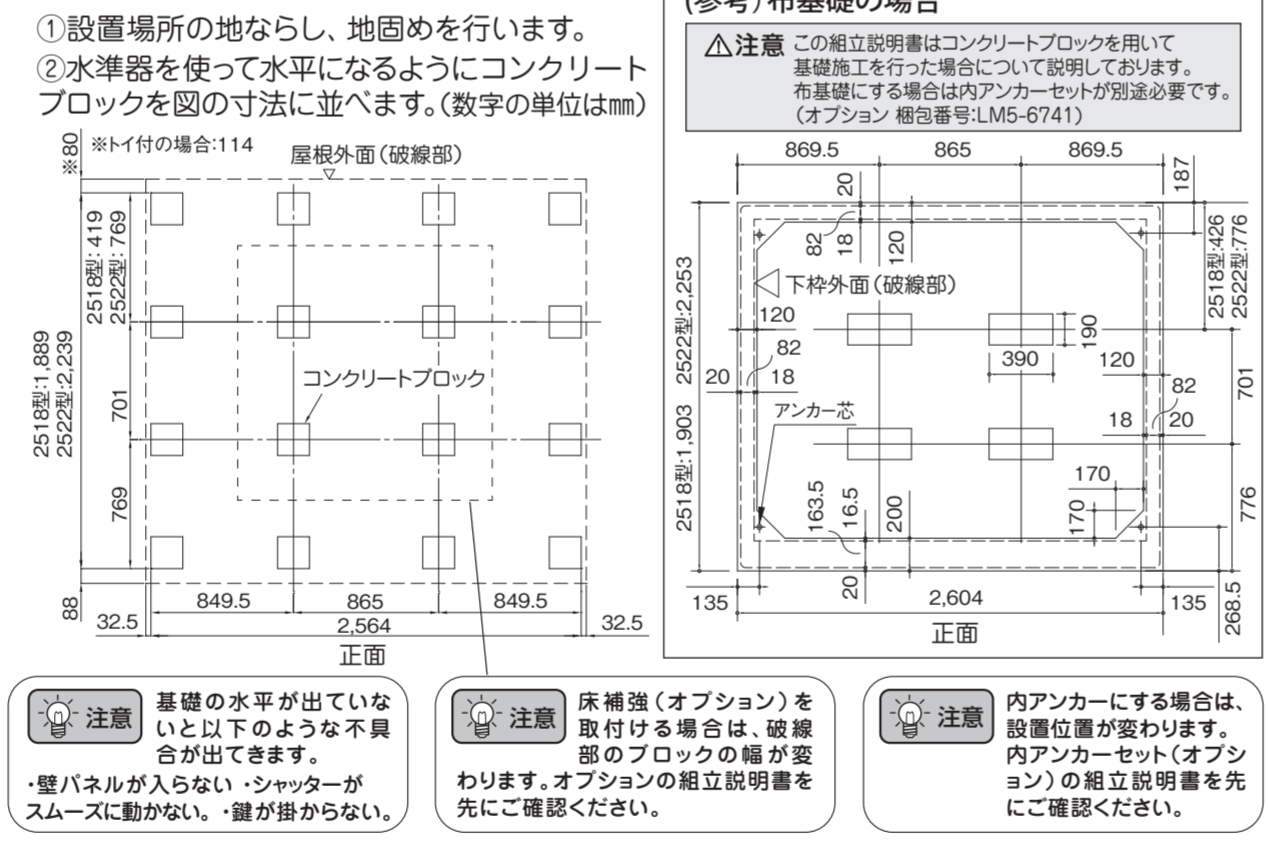
- 組立に必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6・M8ボルト・アンカーボルトの締結用のスパナまたはモンキー、ペンチ等工具、サゲフリ

- 使用ビス一覧(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)
- ⑦ 上枠前後と前板の取付け: ボルトM6×15(白)
  - ⑩ プラケットの取付け: ボルトM8×21
  - ⑪ シャフトの取付け: ボルトM8×60(白)

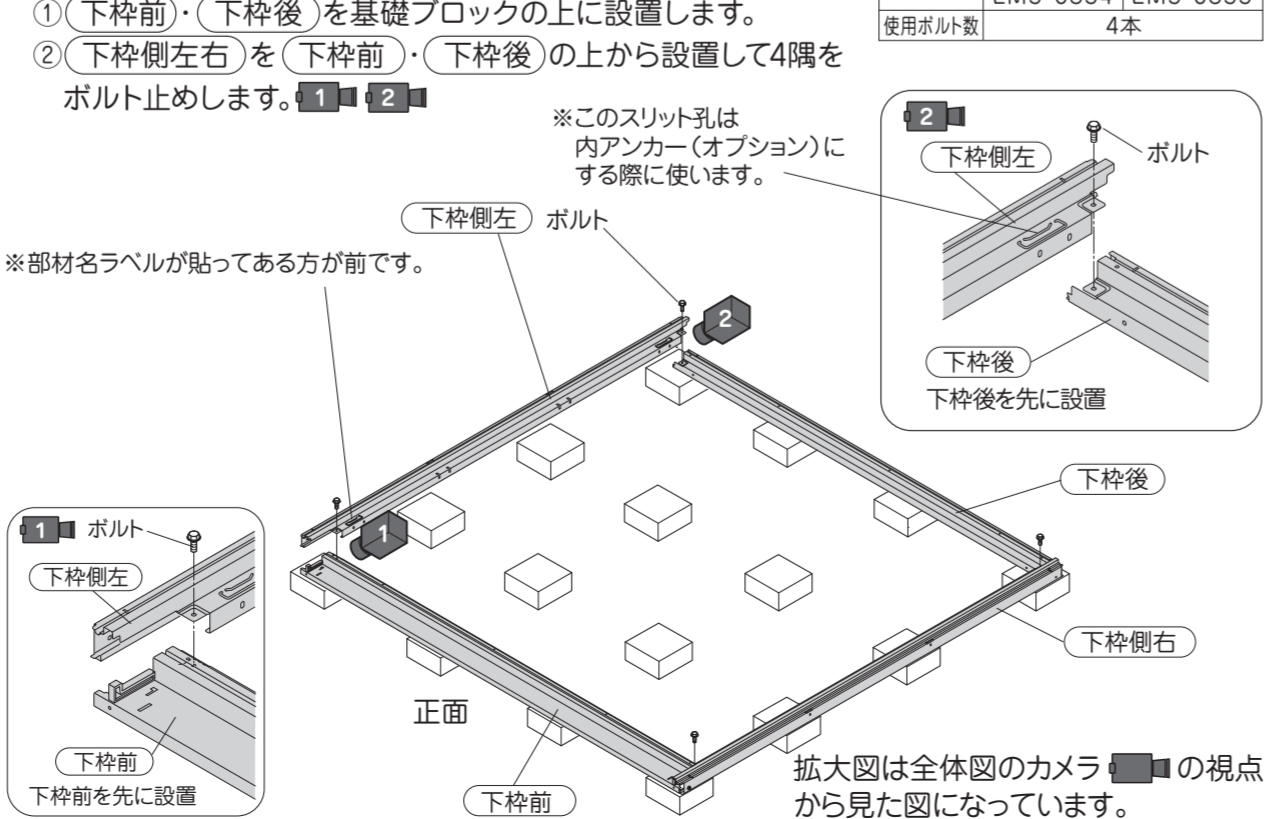
- アンカー工事について
- アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。



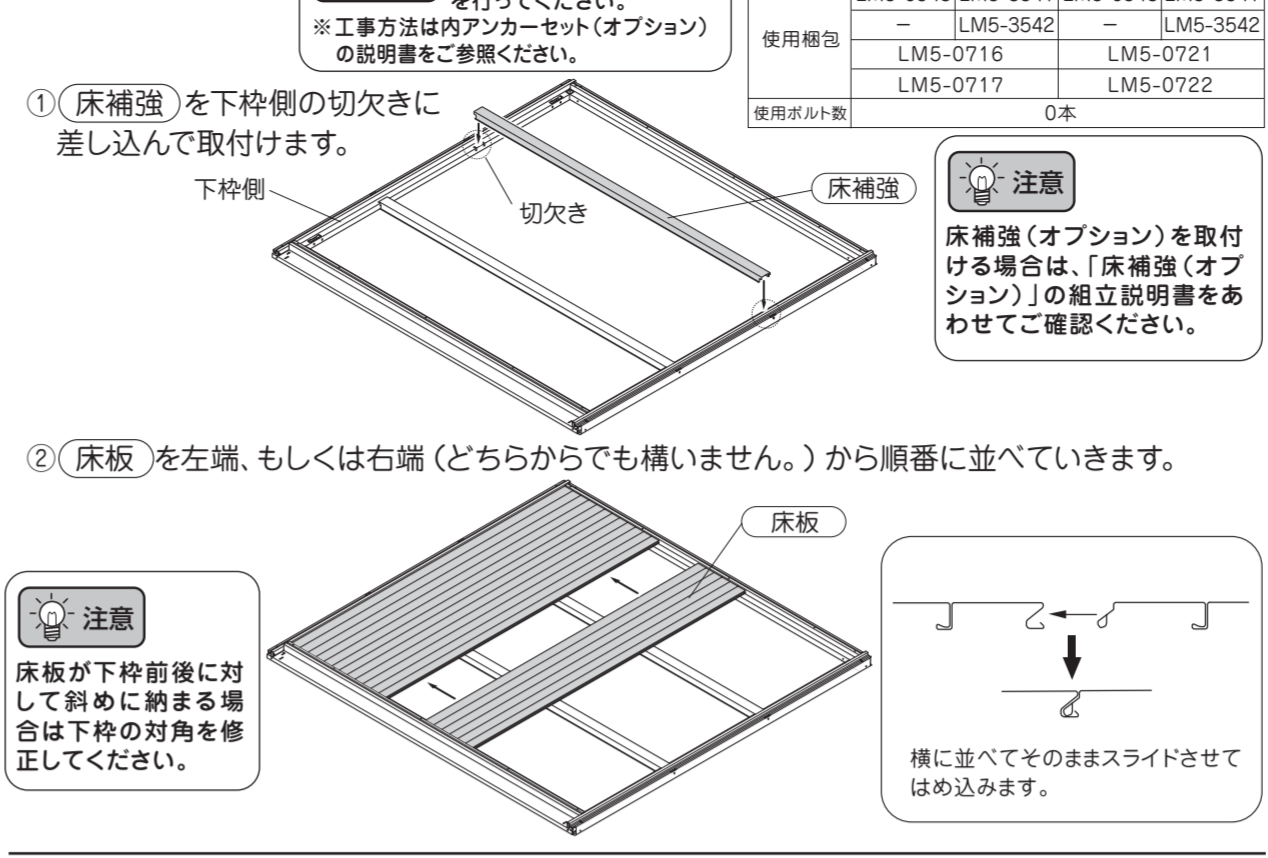
### 1 基礎施工 (詳細図面は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



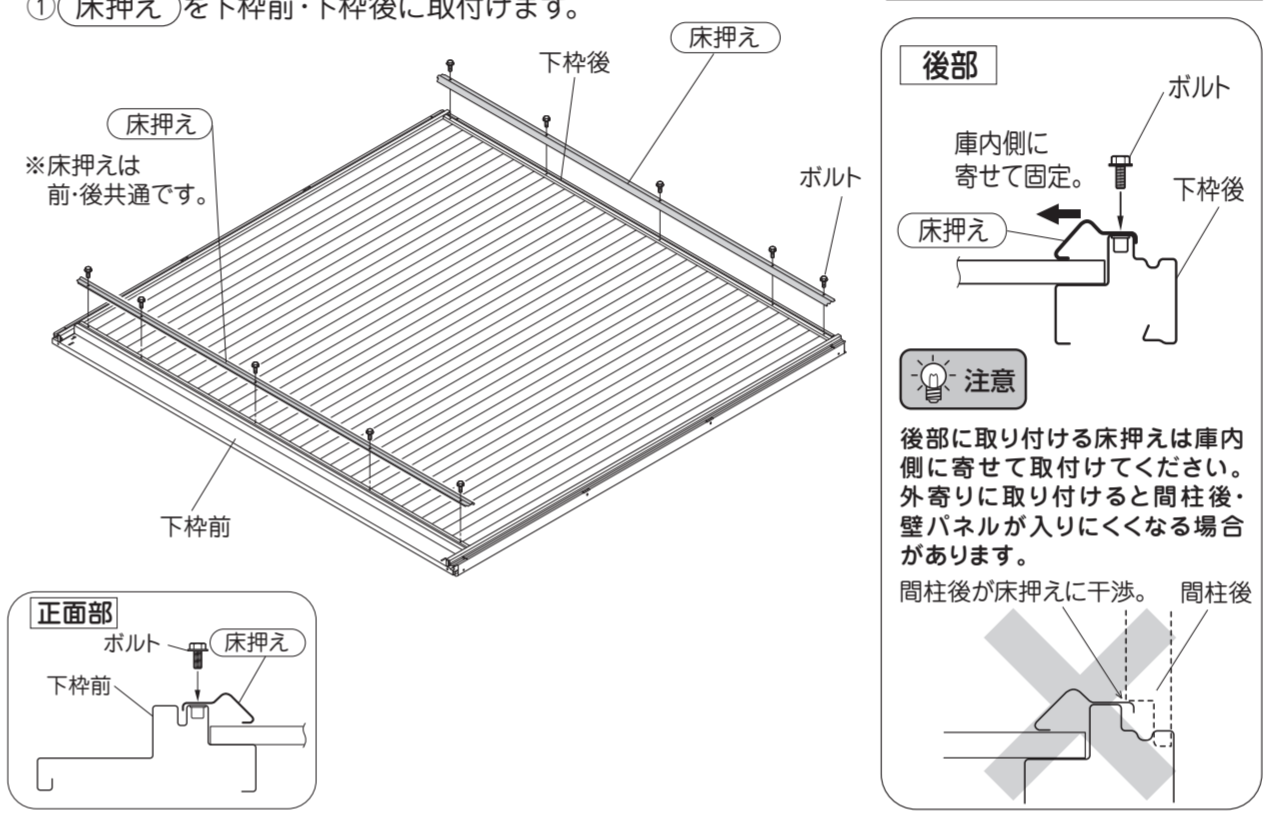
### 2 下枠の組立



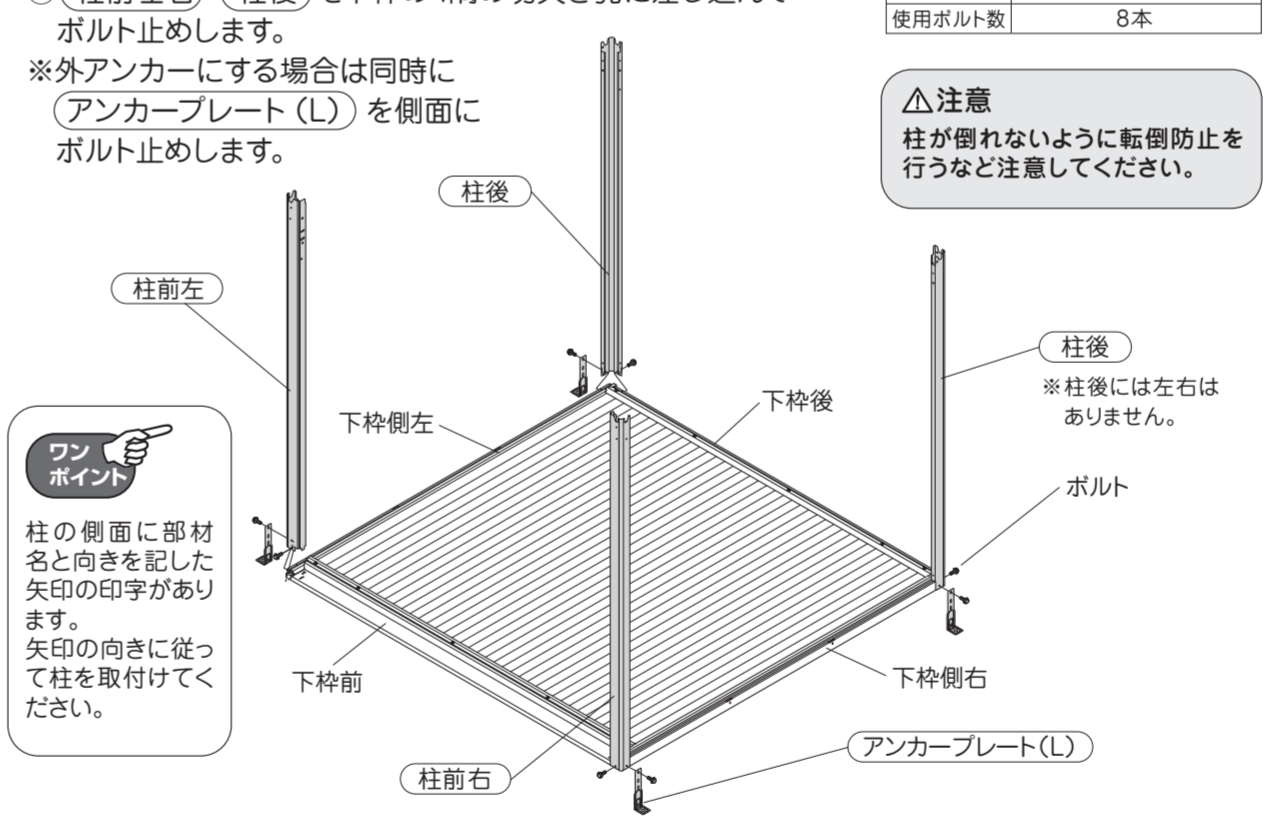
### 3 床の設置



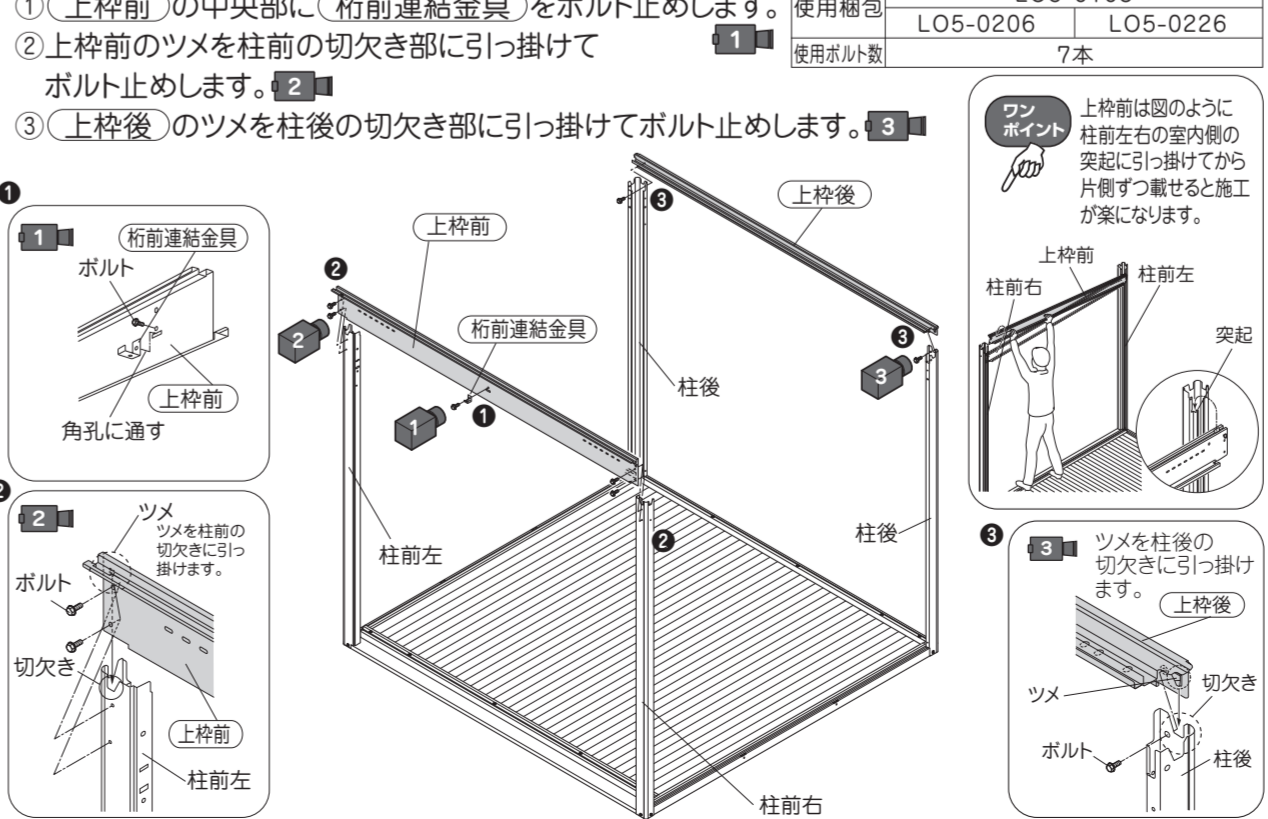
### 4 床押えの取付け



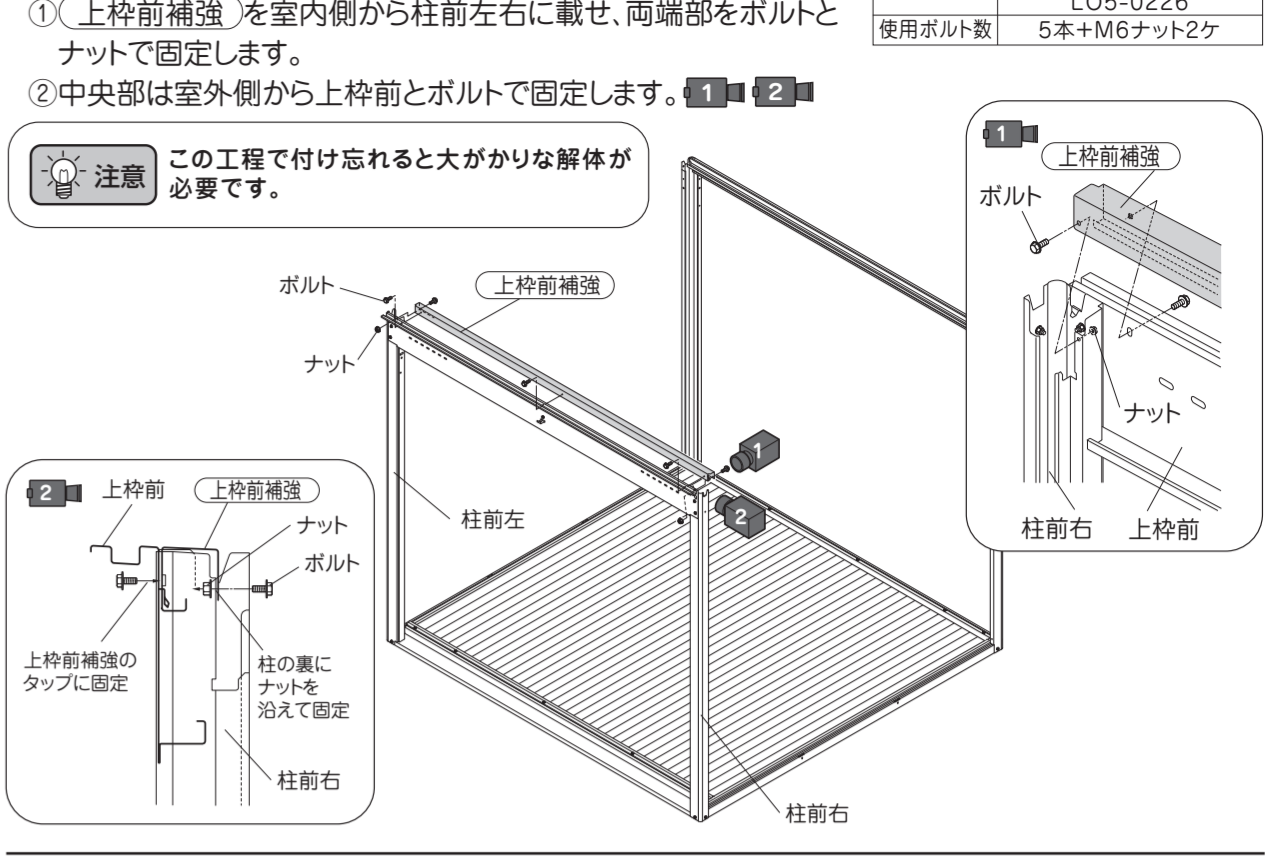
### 5 柱の取付け



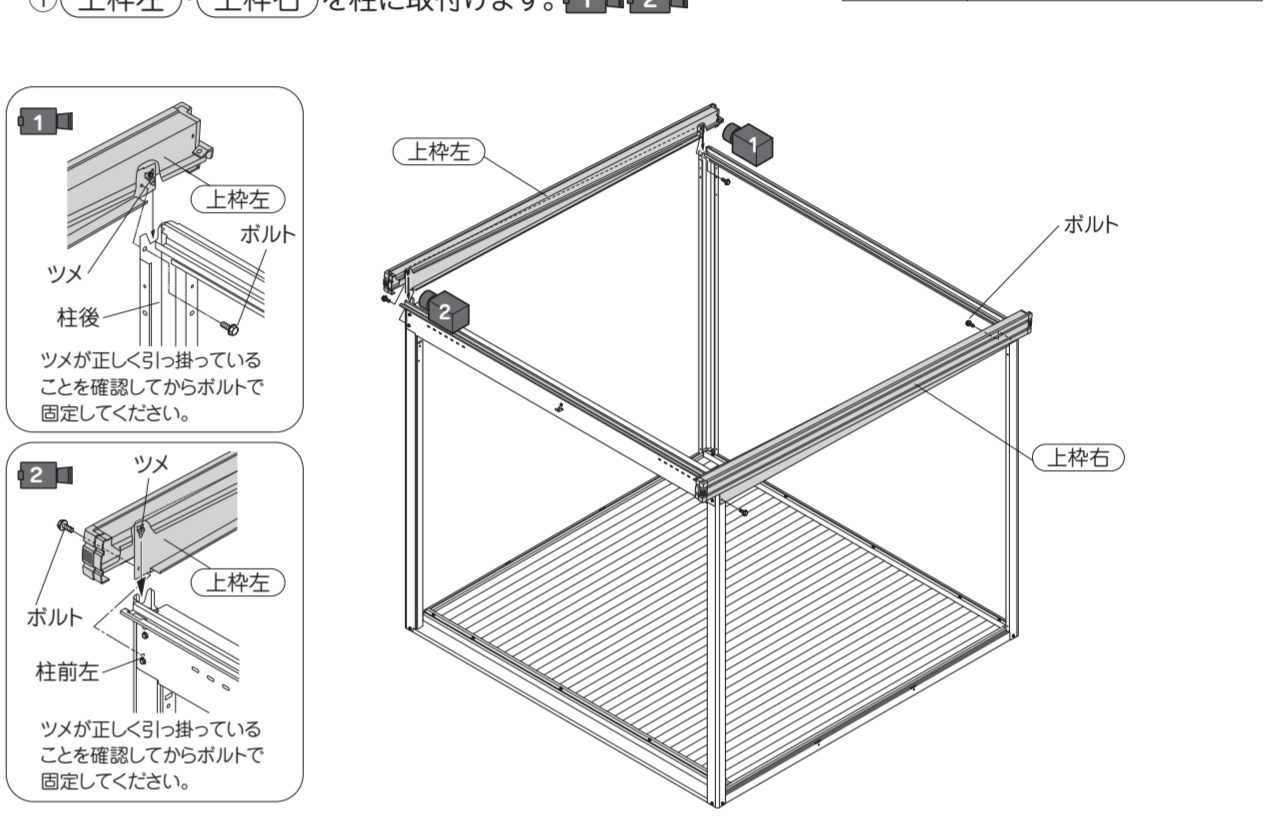
### 6 上枠前後の取付け



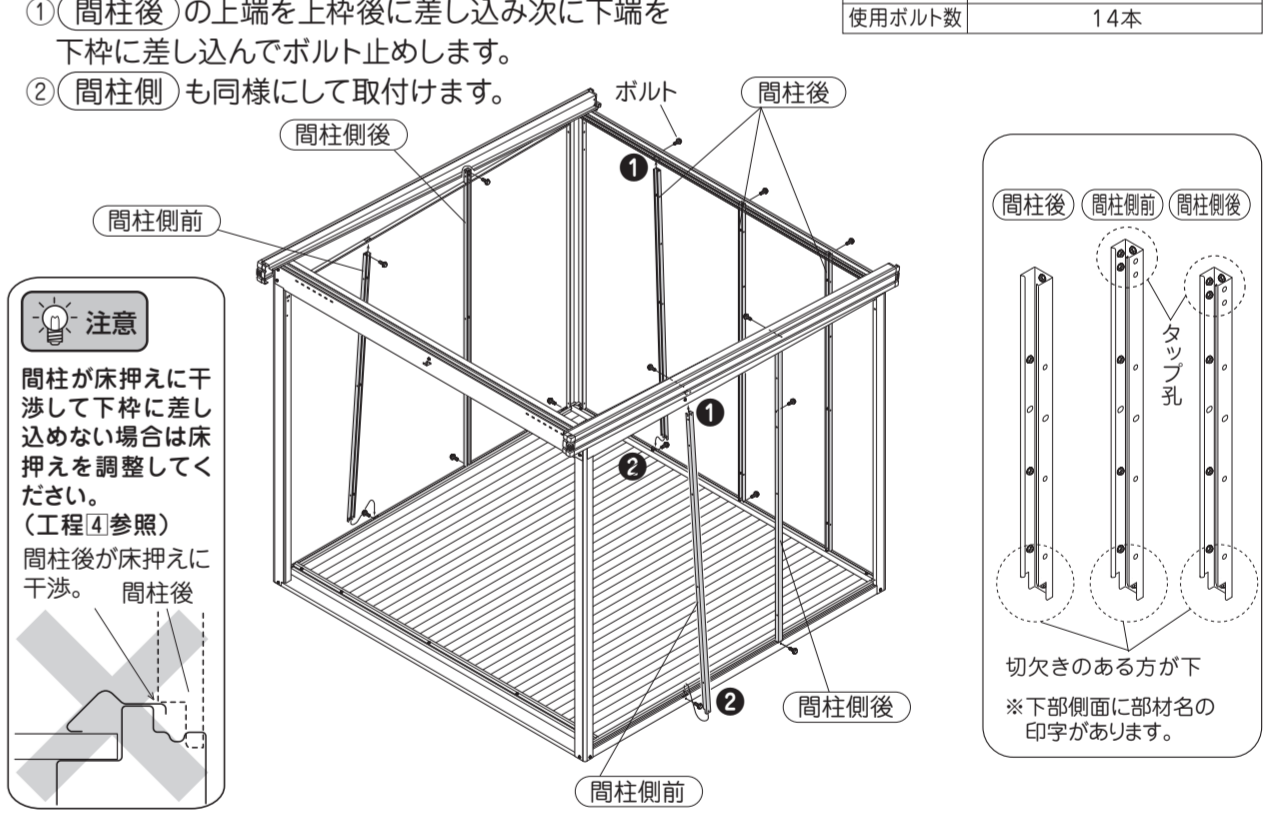
### 7 上枠前補強の取付け(積雪型の場合)



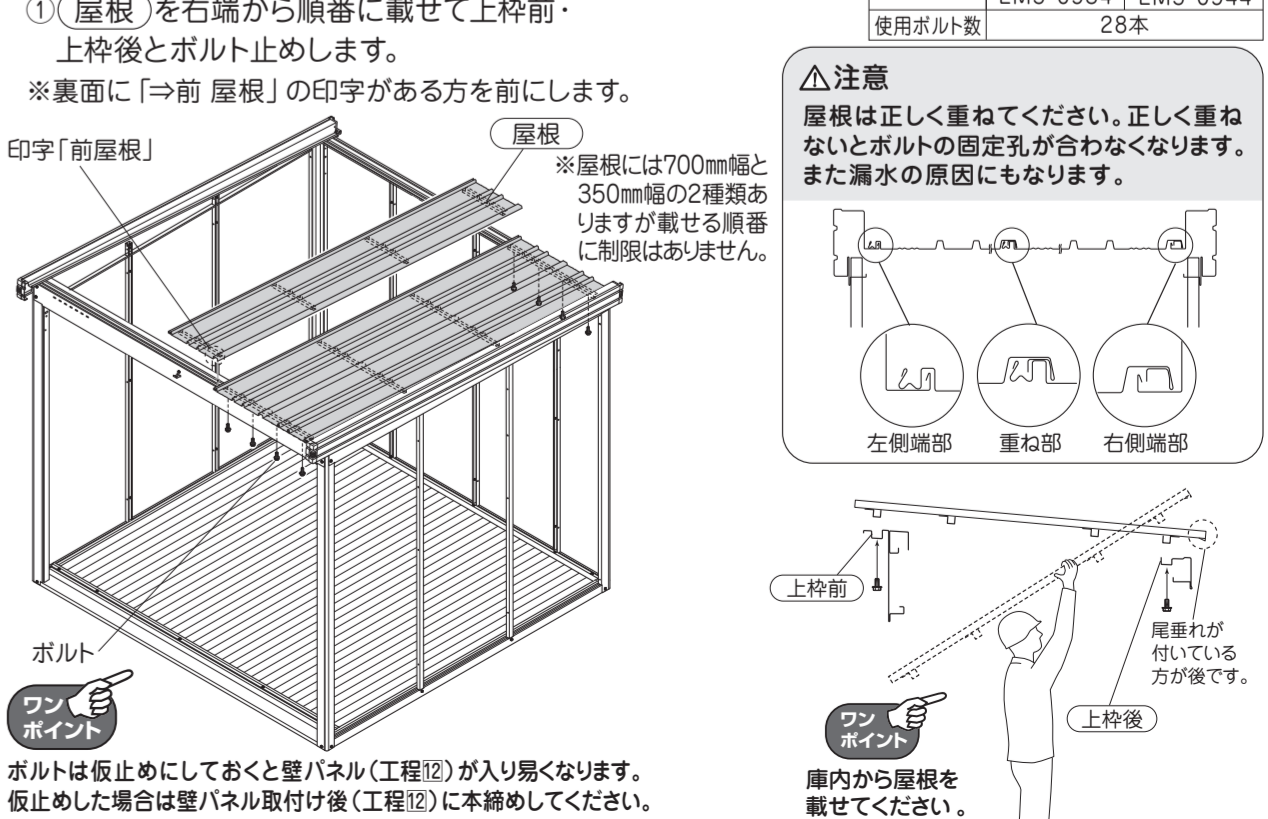
### 8 上枠左右の取付け



### 9 間柱側・後の取付け



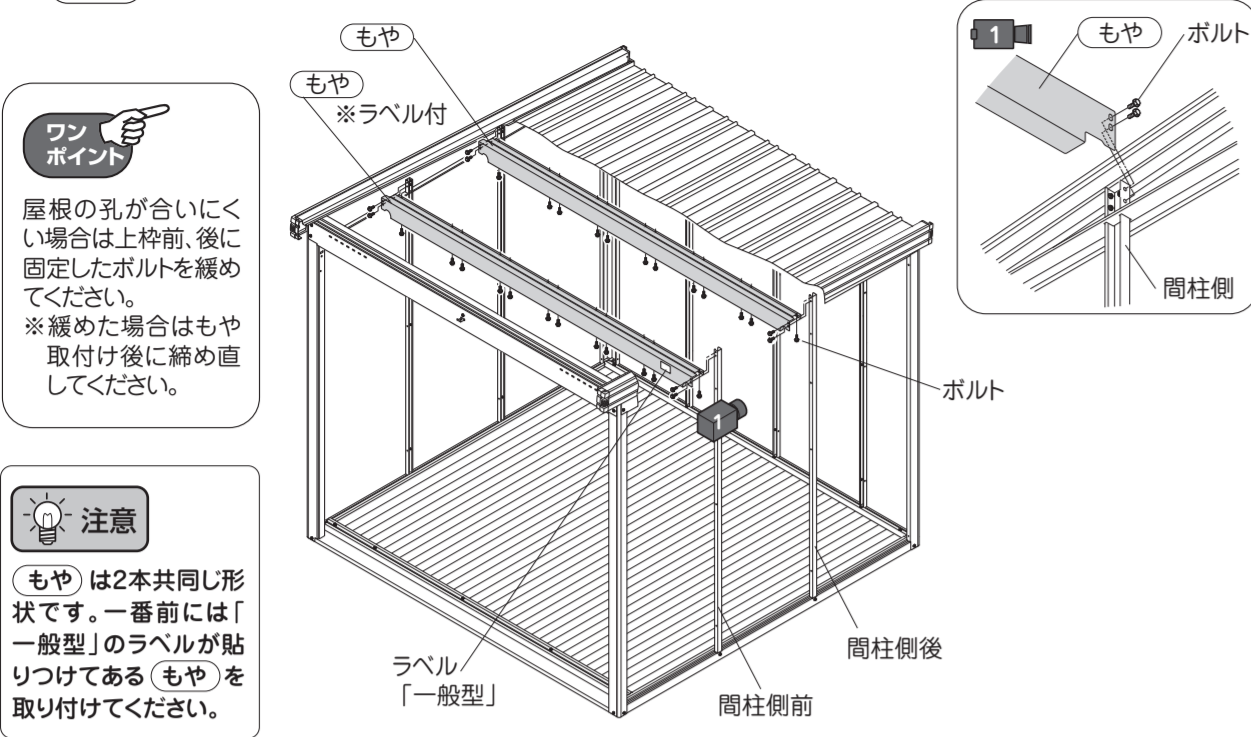
### 10 屋根の取付け



### 11-A もやの取付け ●一般型の場合

2518型	2522型
使用梱包	LM5-0543
使用ボルト数	36本

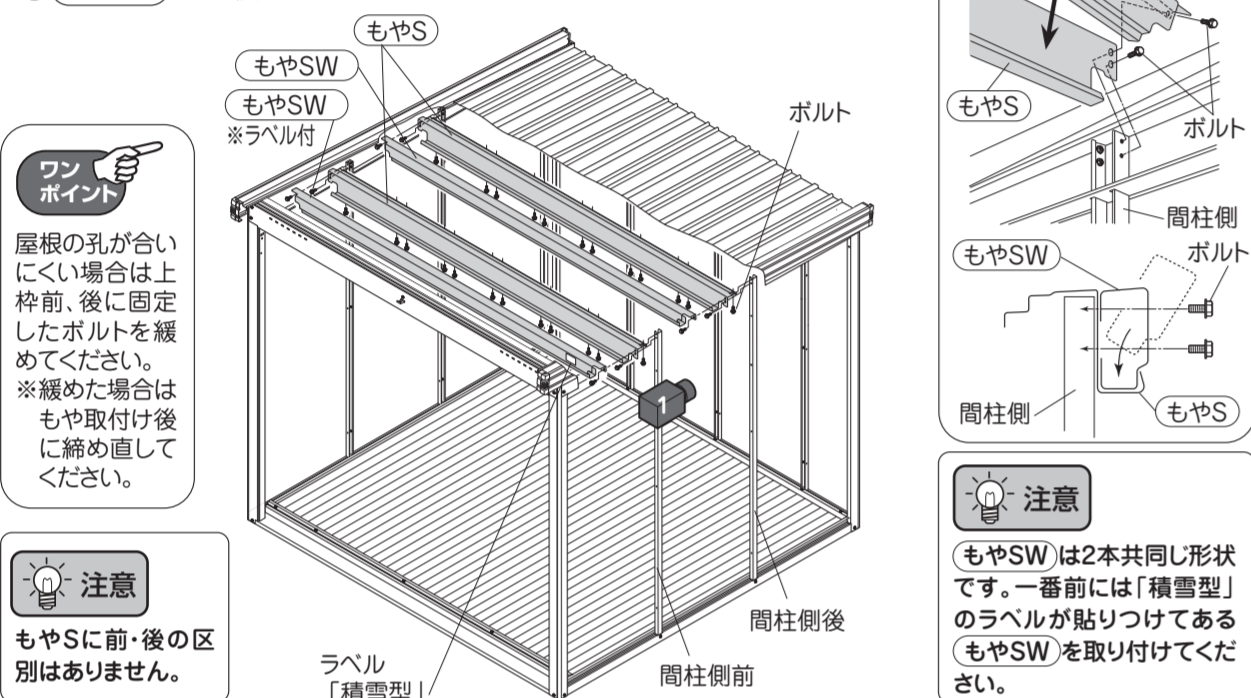
- ①「もや」を正面から間柱側に載せてボルト止めします。
- ②「もや」と屋根をボルト止めします。



### 11-B もやの取付け ●積雪型の場合

2518型	2522型
使用梱包	LM5-3541
使用ボルト数	36本

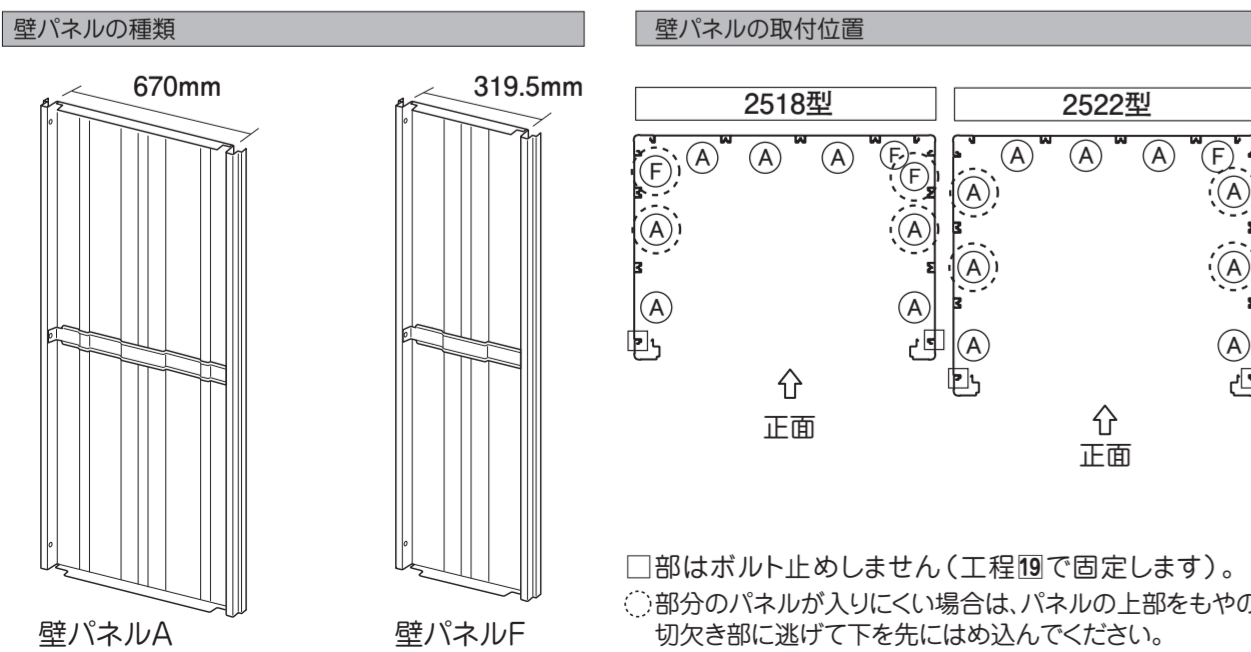
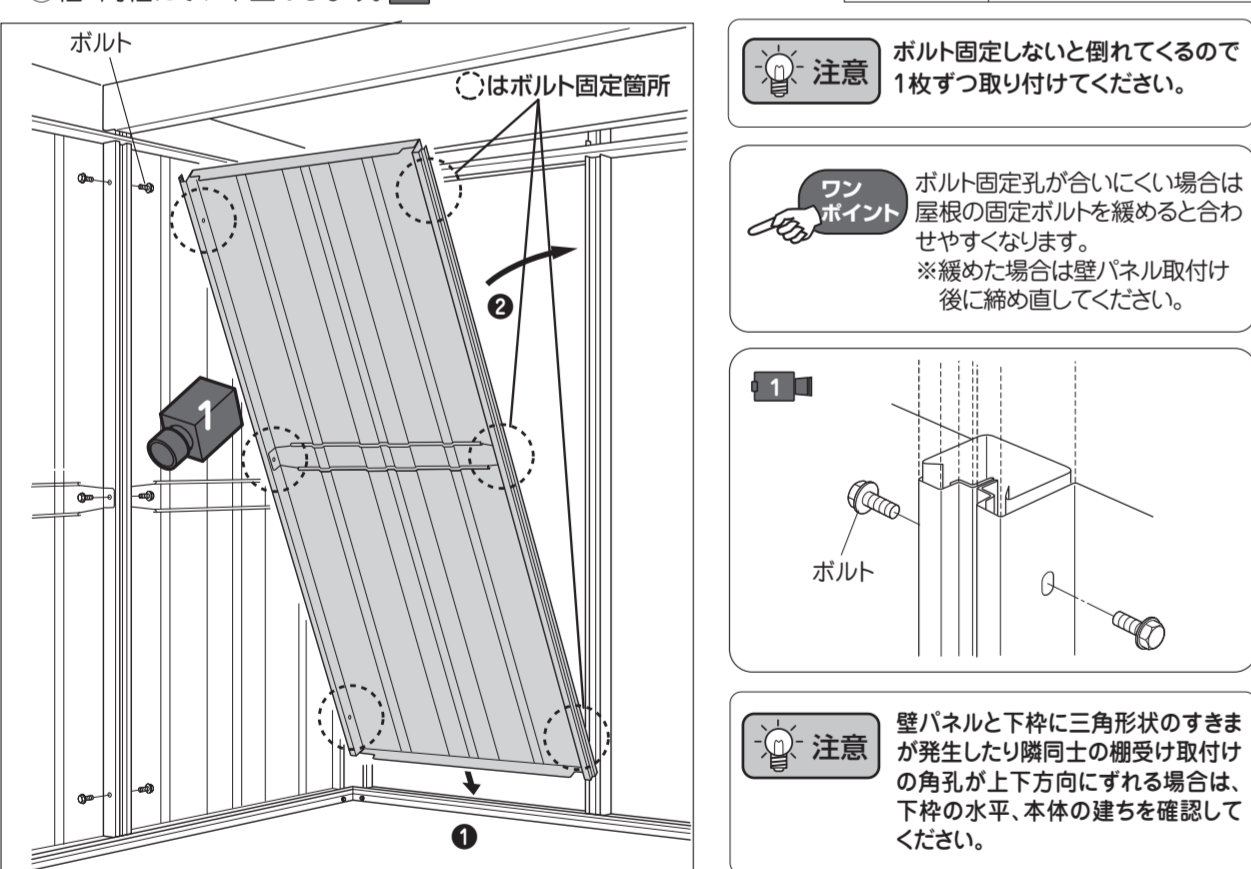
- ①「もやS」を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- ②正面から「もやSW」を「もやS」に落としこみボルト止めします。
- ③「もやS」と屋根をボルト止めします。



### 12 壁パネルの取付け

2518型	2522型
使用梱包	LM5-1013
使用ボルト数	54本

- ①室内から「壁パネル」をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ②柱・間柱にボルト止めします。

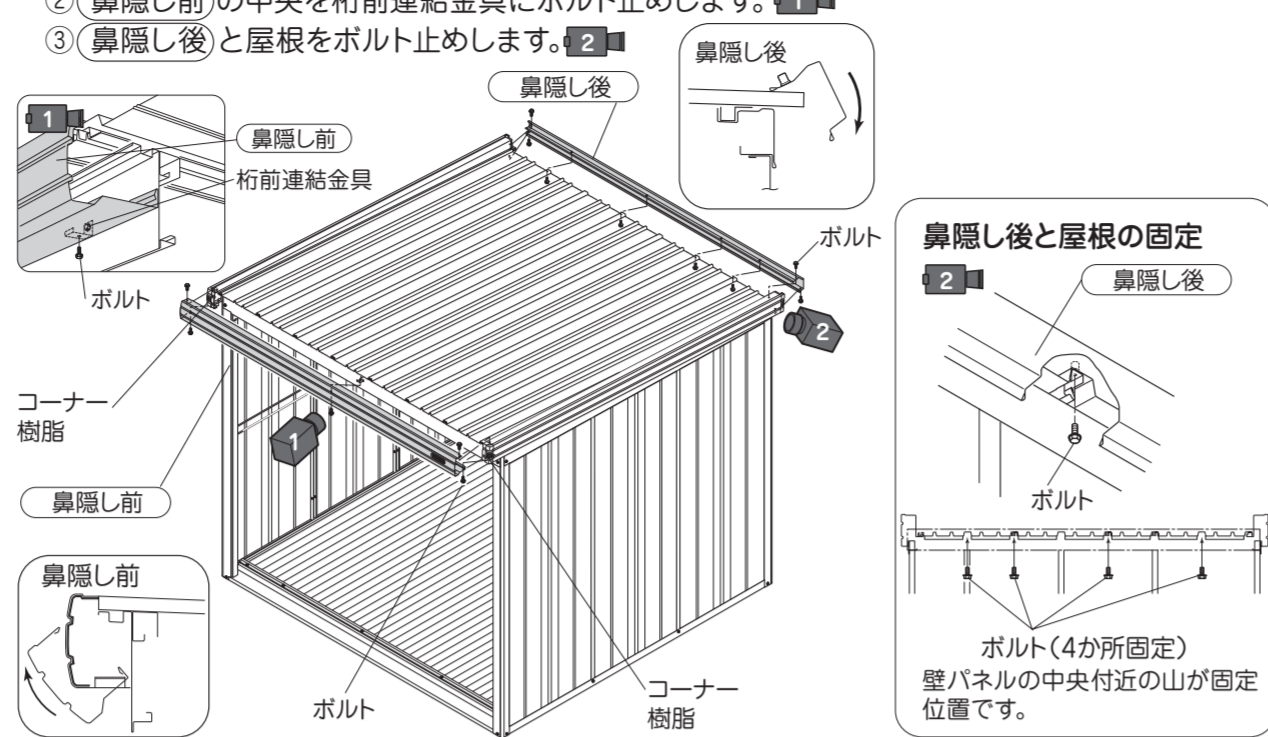


※壁パネルに上下の区別はありません。  
※間柱切り部には高さの低いパネルを使用します。

### 13 鼻隠しの取付け

2518型	2522型
使用梱包	LM5-1106
使用ボルト数	13本

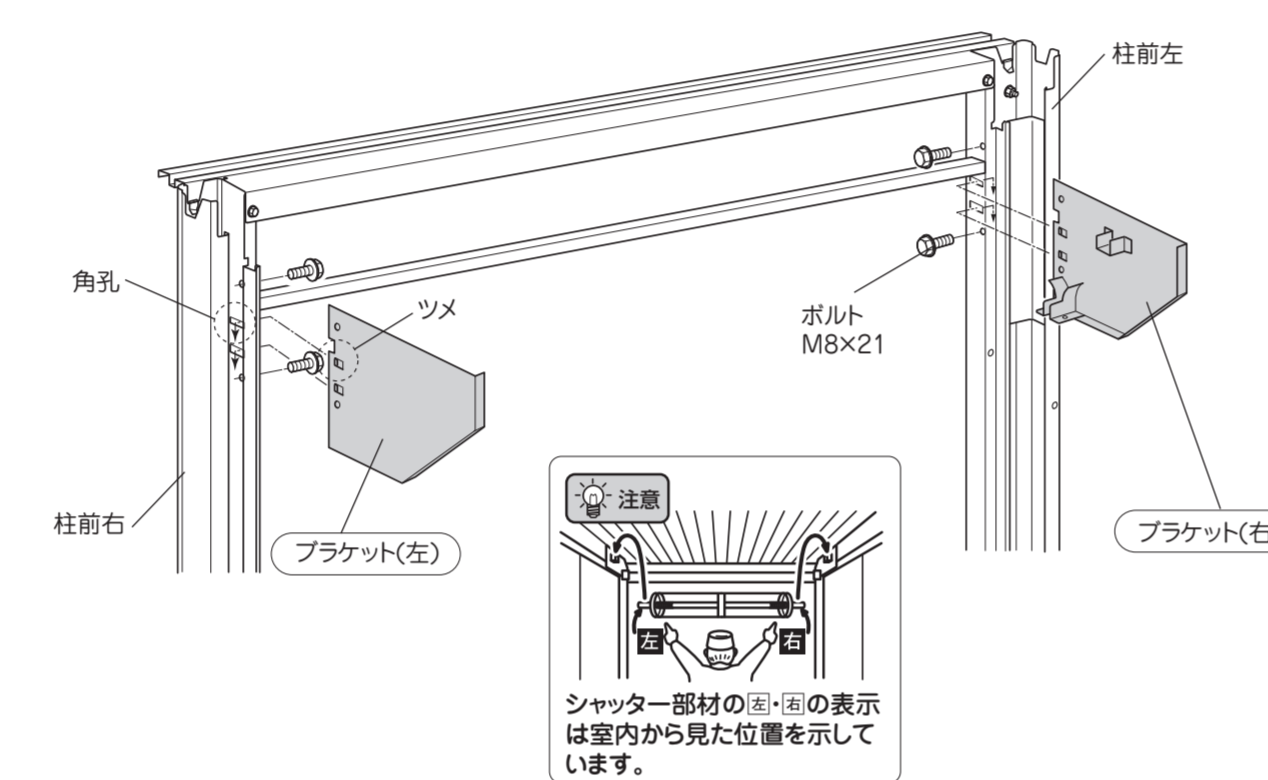
- ①「鼻隠し前」「鼻隠し後」を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- ②「鼻隠し前」の中央を桁前連結金具にボルト止めします。
- ③「鼻隠し後」と屋根をボルト止めします。



### 14 ブラケットの取付け

2518型	2522型
使用梱包	LO5-1751
使用ボルト数	M8×21 4本

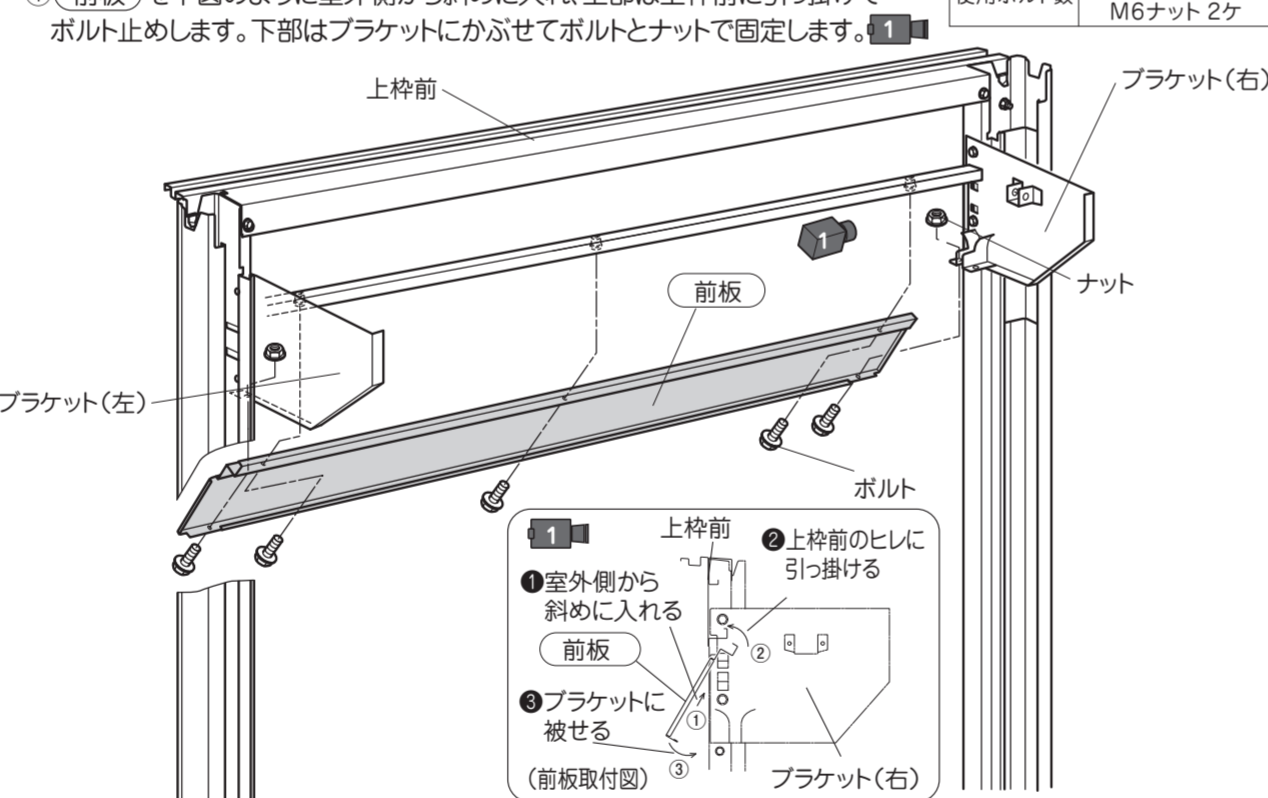
- ①「ブラケット左右」のツメを柱前左右の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。



### 15 前板の取付け

2518型	2522型
使用梱包	LO5-1751
使用ボルト数	M6×15 5本

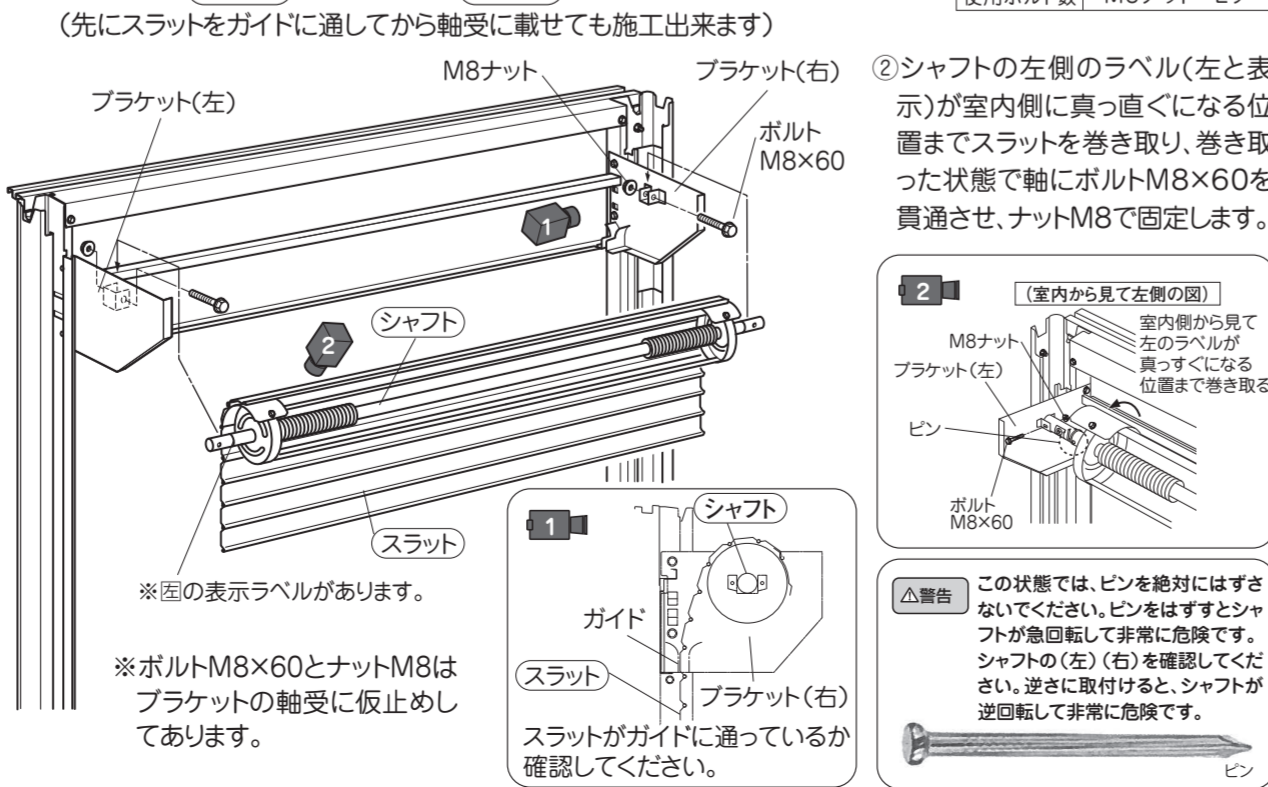
- ①「前板」を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。



### 16 シャフトの取付け

2518型	2522型
使用梱包	LO5-1751
使用ボルト数	M8×60 2本

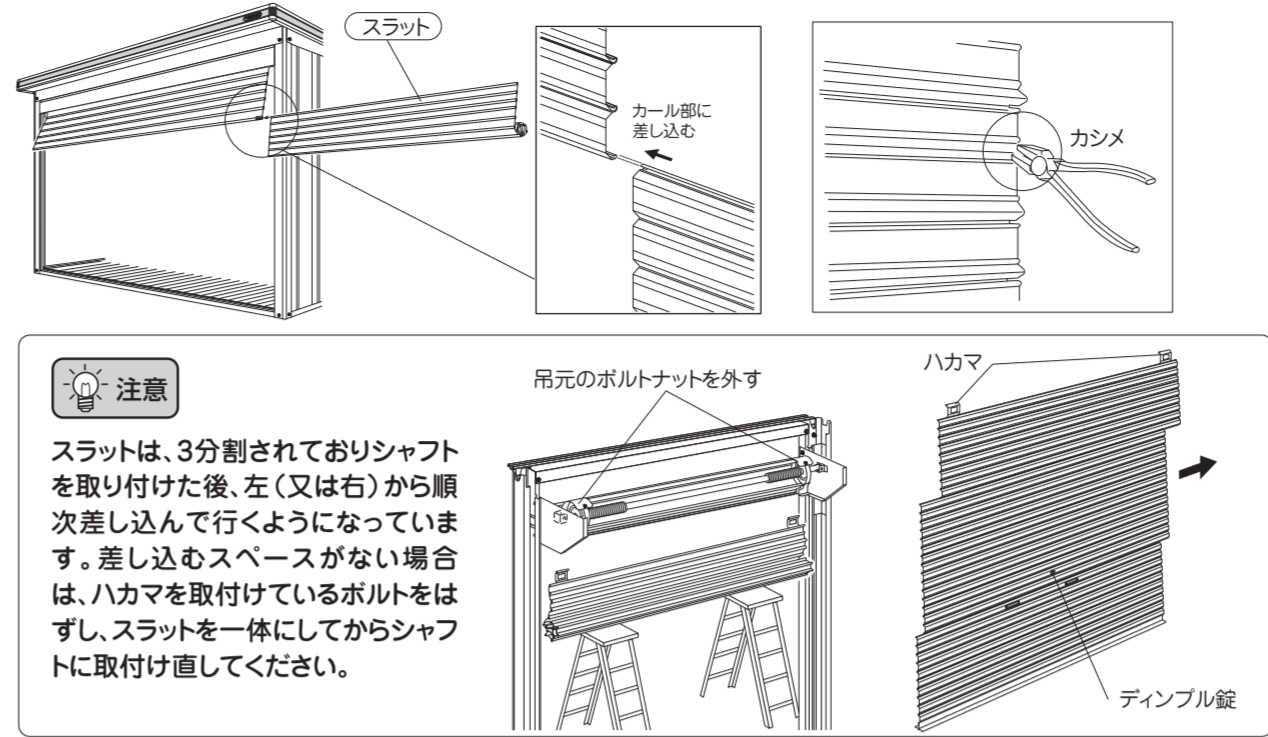
- ①室内側から「シャフト」を軸受に載せ、「スラット」をブラケットのガイドに通します。(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)



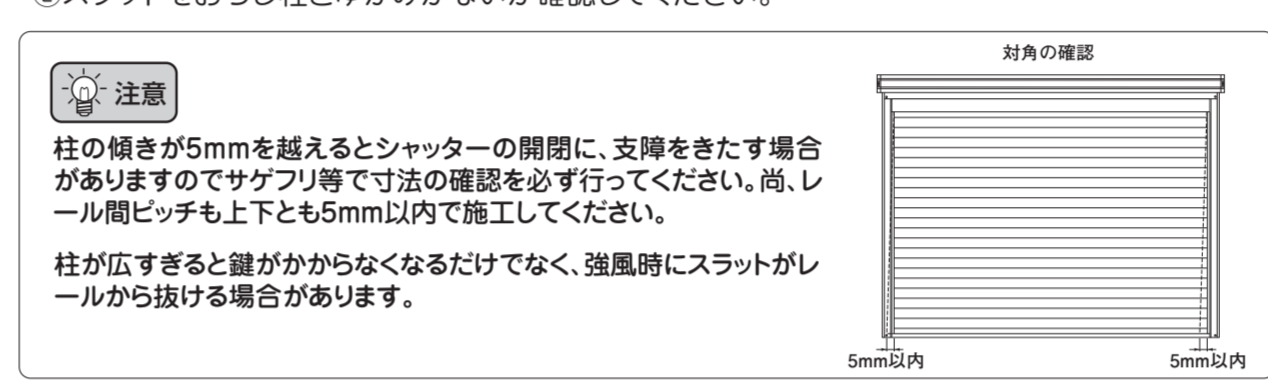
### 17 シャッタースラットの取付け

2518型	2522型
使用梱包	LO5-1752
使用ボルト数	0本

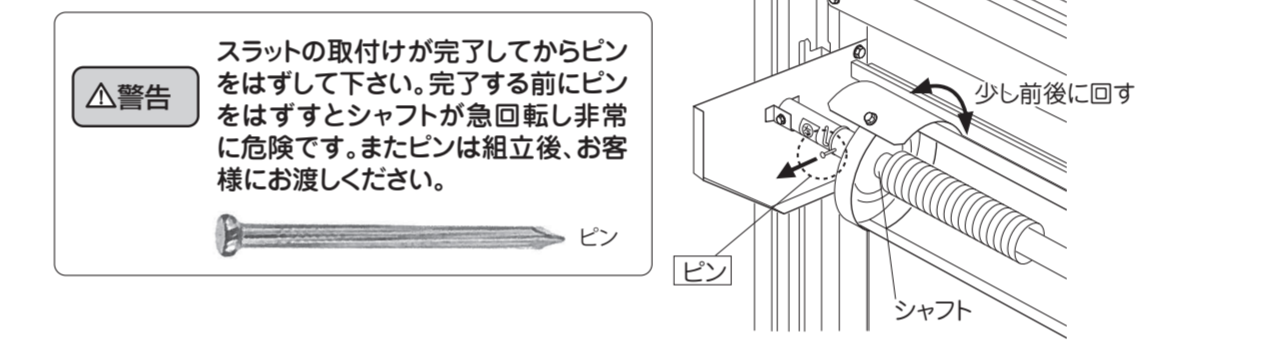
- ①上から「外錠付スラット」→「水切り付スラット」の順に室外側から差し込み、縦ぎ目の両端をベンチ等でかきつけて固定します。



- ②スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。



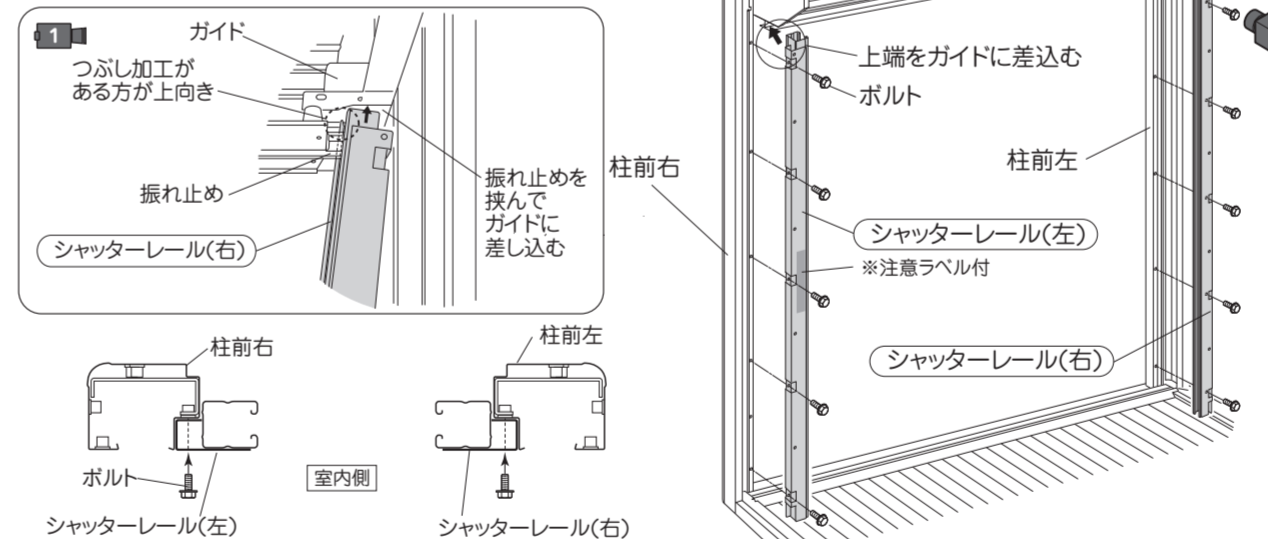
- ③スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。



### 18 シャッターレールの取付け

2518型	2522型
使用梱包	LO5-1751
使用ボルト数	10本

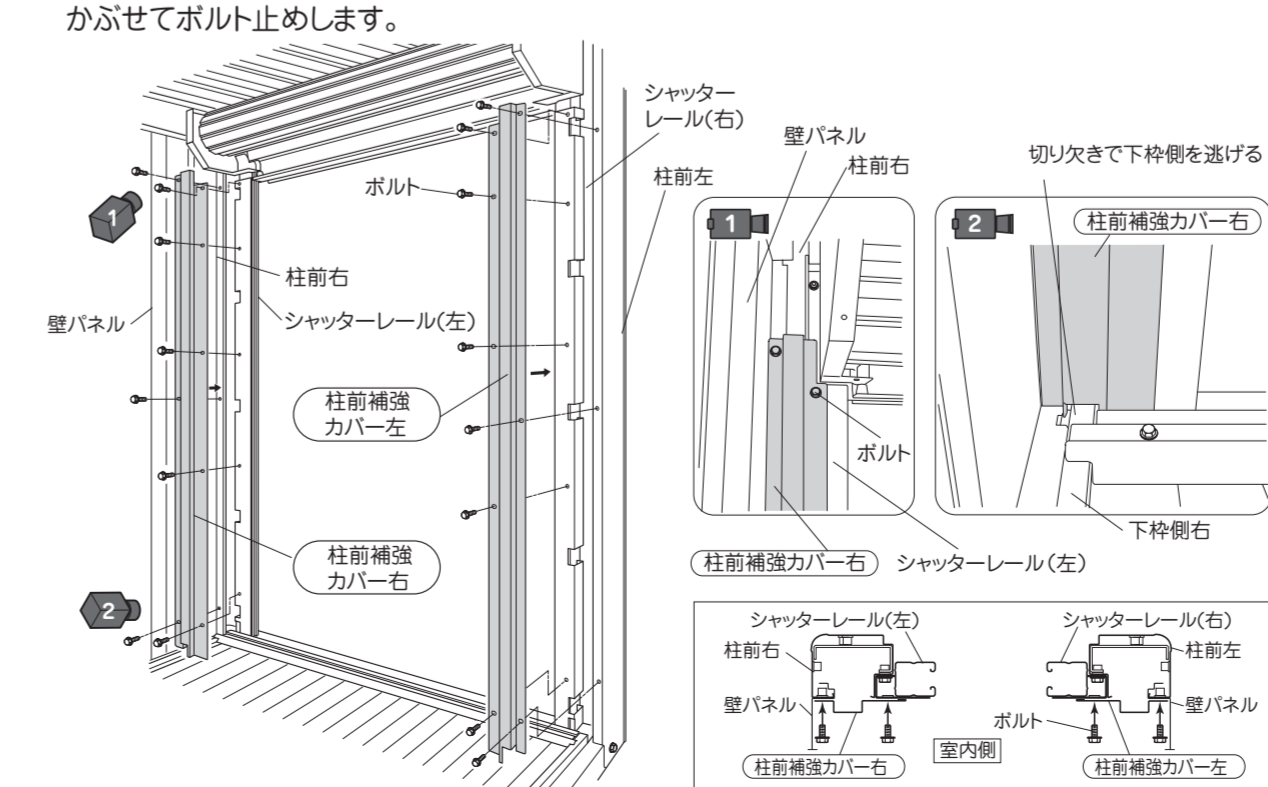
- ①スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
- ②「シャッターレール」の上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。



### 19 柱前補強カバーの取付け

2518型	2522型
使用梱包	LO5-0413
使用ボルト数	16本

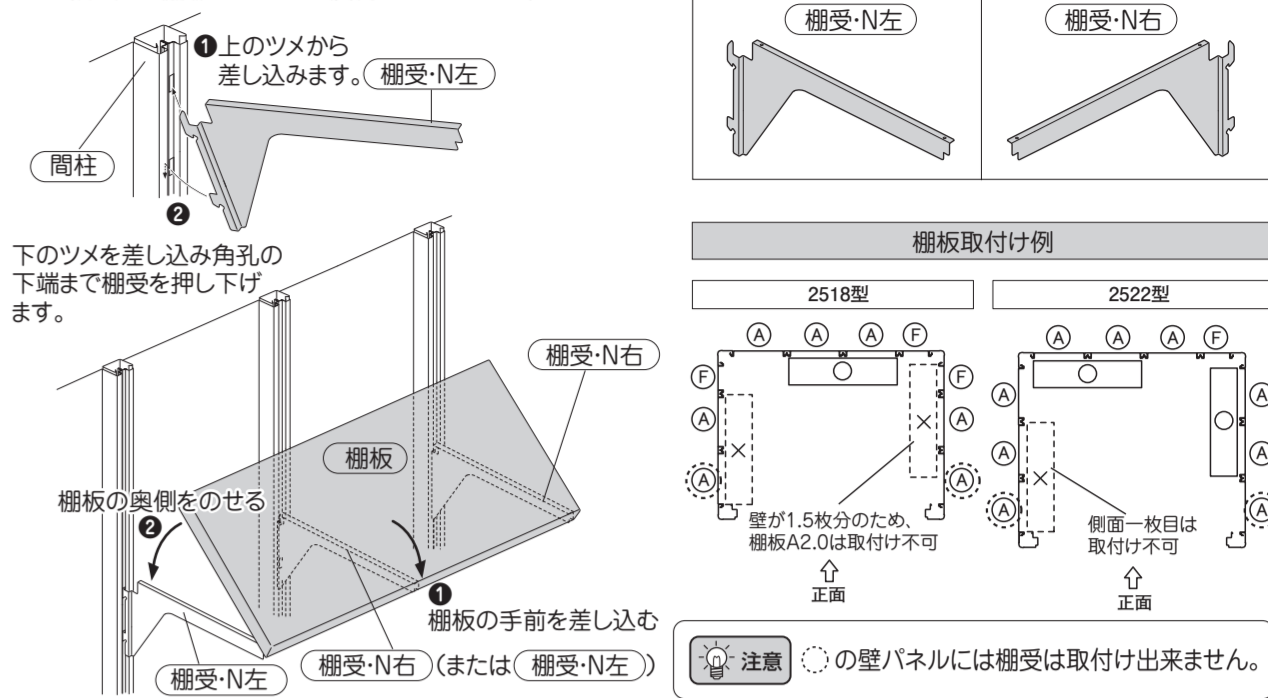
- ①「柱前補強カバー左右」を柱前左右と壁パネルに下図のようにかぶせてボルト止めします。



### 20 棚板の取付け

2518型	2522型
使用梱包	LM5-1903
使用ボルト数	0本

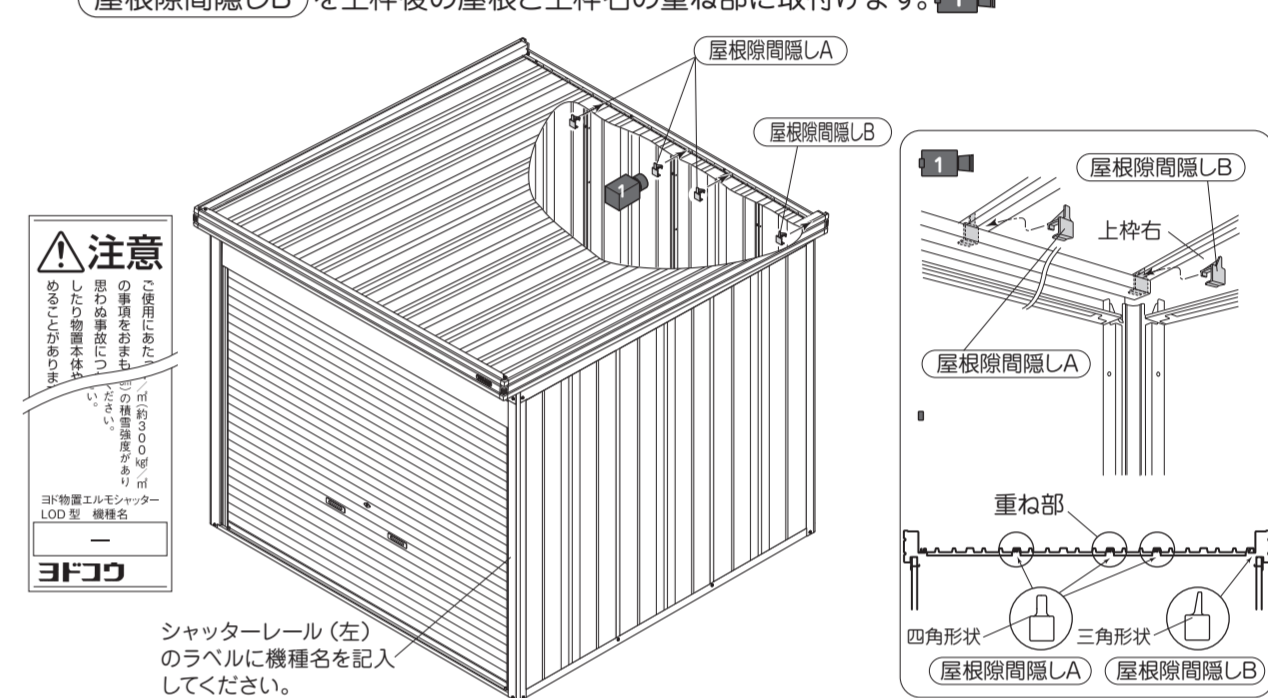
- ①「棚受」を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ②「棚板」を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



### 21 その他部品の取付け

2518型	2522型
使用梱包	LO5-0108
使用ボルト数	0本

- ①シャッターレール(左)の注意ラベルに「機種名」を記入します。
- ②「屋根隙間隠しA」を上枠後の屋根の重ね部に、「屋根隙間隠しB」を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。



### 組立てチェック

- 組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。
- ①シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。
  - ②鍵が正常に作動するかご確認ください。
  - ③棚板の配置確認をしてください。
  - ④機種名が記入されたか確認してください。(シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)
  - ⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。
  - ⑥施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。

### MEMO

チェック欄

①シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。	<input type="checkbox"/>
②鍵が正常に作動するかご確認ください。	<input type="checkbox"/>
③棚板の配置確認をしてください。	<input type="checkbox"/>
④機種名が記入されたか確認してください。(シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)	<input type="checkbox"/>
⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。	<input type="checkbox"/>
⑥施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。	<input type="checkbox"/>

お客様へ シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。  
施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。